

## 6月1日 市立小中学校教頭を対象とした健康安全研修会

6月1日(月)に、学校運営の要となる教頭を対象に学校保健・学校安全の向上を目的とした研修会を開催します。今年度は、「①起立性調節障害(※)の理解と対応」と「②新しい防災気象情報の運用」をテーマに行います。

### ※起立性調節障害

- ・主に思春期に多く見られる自律神経系の不調による疾患で、中学生の約 10%がかかるといわれています。
- ・循環器系の自律神経機能の調節不全により、脳や全身に十分な血液が行き渡らないため、立ちくらみ、めまい、動悸、朝起きられない、強い倦怠感などの様々な症状が表れます。

### 【研修テーマ選定の趣旨・背景】

- ① 起立調節障害への理解不足により、児童生徒が適切な支援や受診につながらない課題があるため、静岡市では、学校・家庭・医療機関の理解や連携促進を目的に、対応ガイドラインを作成しています。研修会では、当該ガイドラインの監修者である昭和医科大学の田中 大介氏を講師に、症状の理解と対応について学びます。
- ② 5月29日(金)から新しい防災気象情報の運用が開始され、気象情報の種類や発表のタイミングが見直されることから、学校現場では、より迅速かつ的確な判断と行動が求められます。そのため、静岡地方気象台の職員を講師に、新しい防災気象情報の運用、気象情報発表のタイミングや学校が取るべき対応について学びます。

### 【開催日時・会場】

- ・令和8年6月1日(月) 14時から16時30分まで
- ・静岡市教育センター 2階 中研修室(静岡市葵区与一六丁目17番10号)

### 【研修スケジュール等】

- ・14時10分から15時10分まで  
講義① 起立性調節障害の理解と子どもとの関わり  
～今、学校でできることは？～  
講師:昭和医科大学 保健管理センター所長 田中 大介(たなか だいすけ) 氏
- ・15時20分から16時20分まで  
講義② 新しい防災気象情報の運用  
～気象情報発表のタイミングと求められる対応について～  
講師:静岡地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 丹羽 和彦(にわ かずひこ) 氏

### 【取材について】

- ・事前申込・事前連絡ともに不要です。開催日時に直接会場へお越しください。
- ・車でお越しの際は、北部図書館駐車場を御利用ください。

### 【問い合わせ先】

教育局 児童生徒支援課(清水庁舎8階)、担当者:児玉、渡邊、生田  
電話:054-354-2518